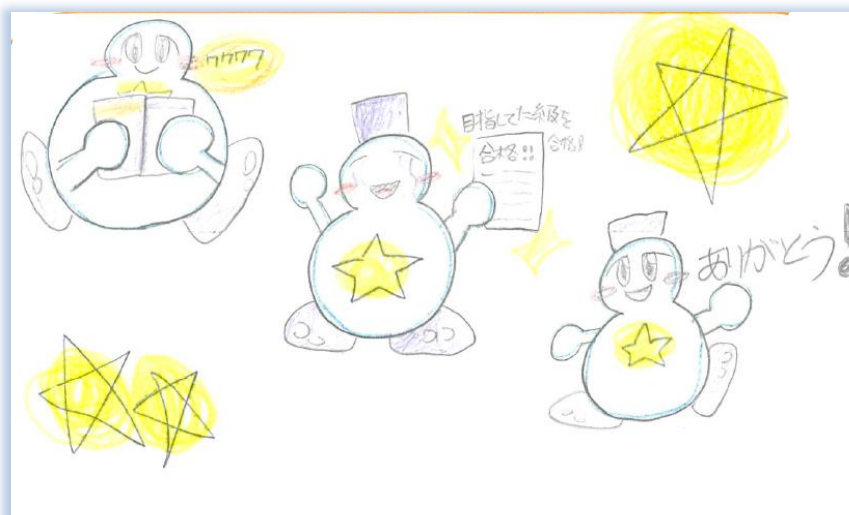
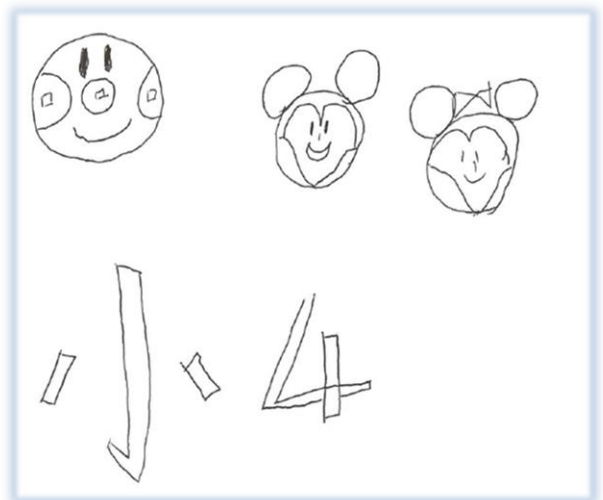


東日本大震災みやぎこども育英募金 寄附者の皆様へのメッセージ



はじめに

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、多くの子どもたちが被災し、様々な問題を抱えることとなりました。

これを受け、宮城県では、同年より「東日本大震災みやぎこども育英募金」の受け入れを開始しました。皆様からお寄せいただいたご寄附は「東日本大震災みやぎこども育英基金」として積み立て、東日本大震災により影響を受けた子どもたちへの支援に活用しています。

このたび、東日本大震災みやぎこども育英募金へ寄附をしてくださった皆様へのメッセージをお寄せいただきました。メッセージは、寄附金を活用した支援金・奨学金*をお届けした子どもたち、そして、保護者の方々により、令和元年8月から9月にかけて書かれたものです。

これからご紹介するメッセージには、感謝の気持ちや現在の状況などが、思い思いの形でつづられています。本メッセージ集により、東日本大震災で被災された方々の思いを伝えることができれば幸いです。



©宮城県・旭プロダクション

*東日本大震災みやぎこども育英基金 支援金・奨学金

宮城県では、両親を亡くした震災孤児が**139人**、両親のいずれかを亡くした震災遺児が**962人**となっており、合わせて**1,101人**（震災時大学生含む）の子どもたちが親を亡くしています。こうした子どもたちが安定した生活を送り、希望する進路選択を実現できるよう、奨学金等を給付しています。

目 次

 子どもたちからのメッセージ・・・・・・・・・・ 1

 保護者の方からのメッセージ・・・・・・・・・・ 18

 家族からのメッセージ・・・・・・・・・・ 33

～ 子どもたちからのメッセージ ～



小学校4年生より

みなさまのしえんのおかげでたのしく
くらせています。みなさま、ありがとうござい
ました。



小学校4年生より

東日本大震災で母がなくなり8年9ヶ月か
ちます。いろいろと助けいただきありがとうございます。
自分も小学4年生になりました。母がいなくいろいろい
事大変な事泣きたくなる事もあります。旧日を大切に
生きていこうと思います。そして自分が生きている
事毎日ごはんが食べられることが幸せだと思います。
これからの人生を歩んでいきたいと思ひます。これ
からも温かく見まわってください。どうぞよろし
くおねがいします。



小学校6年生より

震災から8年がたちますが寄附してくださっている方ありがとうございます。

今は元気にくらしています。これからも寄附をお願いします。



小学校6年生より

「東日本大震災こども募金」で寄附してくれた皆様、本当にありがとうございます。

私はそのお金を塾のお金に使ったり、自分が好きな本を買ったりすることに使っています。





小学校6年生より

ぼくは、小学6年生になりました。9月5と6日に修学旅行に盛岡に行きました。色々な食べ物食べて、たくさん見学して、バスやホテルでみんなと楽しく過ごしました。

たくさん思い出かいてきました。

これからも行事いっぱいあるのでがんばります。



小学校6年生より

寄附を下さってありがとうございます

ぼくは六年生になって漢文に興味を持っています。

これからの目標は前向きに明るく生きていくことです。



中学校1年生より

寄附を下さってありがとうございます。

私は中学生になって、勉強と部活を頑張っています。

これからもいろいろなことに取り組んで、頑張っていきたいです。



中学校1年生より

僕は小学校から野球をしていましたが中学校ではバスケット部に入りました。バスケットの用品をそろえるにはお金がかかりましたがみなさんの温かい気持ちのおかげできちんとそろえることができました。熱にも通うことができしかりと自分の志望高へ向けて精一杯がはまれているのを皆様のおかげです本当にありがとうございます。

中学校生活、部活も勉強もたくさん人の支援をいただいていることを忘れずがんばっています。



中学校1年生より

私は今年から、中学生になりました。

最初のうちは、中学生活に慣れなく、心配なこともたくさんありましたが、次第に友達も増え、楽しく過ごせるようになりました。

中学校で一番大変なのは、部活と勉強の両立です。

中学では部活も始まり、忙しくなってきましたが、中学の勉強も、小学校のときよりも難しくなりました。

部活や塾に通いながら、自分の勉強の時間を見つけることが、だんだんと難しくなり、前回の期末テストの勉強も、あまりすることができませんでした。

部活はバドミントン部に所属しており、日々の練習に励んでいます。

これからも、勉強や部活の練習、その他のものに励み、充実したよりよい生活がおくれるようにしていきたいと思います。

それから、寄附をしてくださる方、ありがとうございます。



中学校2年生より

私は今、家族と一緒に普通に暮らしています。

私は絵を描くのが好きですが、最近あまり上手に描けていません。

震災から8年がたちましたから、長かったようで短かったような気がします。あのときは私はまだ5歳くらいの子どもで、覚えていない部分もあります。

しかし、本当にこわがっていたことは覚えています。

でも、毎日楽しいです。

とても感謝しています。

中学校3年生より

僕は今年の6月に部活動が終わり、今は受験に向けて勉強を頑張っています。

皆様からの寄附のおかげで勉強に集中することができます。志望校の目標は高いですが、その割合以上の勉強をしているつもりです。そして、これからも頑張りますので、応援していただけると嬉しく思います。最後になりますが、今まで寄附をしてくださった方、本当にありがとうございます。

中学校3年生より

いつも私たちに寄附をしてくださりありがとうございます。
支えにとても感謝しています。
これからもよくお買い上げします。

高校1年生より

今年から、高校に入学し、高校生になりました。

高校生活は、最初は、慣れないことばかりで大変でしたが、高校生になってから半年程が経って、ようやく新しい生活に慣れ、余裕を持てるようになりました。

高校に入ってから一番苦労していることは、勉強です。中学の学習内容と重なる部分もありますが、更に難しくなり、時間を見つけて勉強することがとても大変です。

私は、家庭部に所属していて、週2で活動をしています。お菓子作りなどの調理と、被服もやっていて、とても充実した時間を過ごしています。これからも、勉強に熱心に取り組み、かつ趣味の時間も大切にしながら生活していきたいと思います。

そして、いつも、寄附をありがとうございます。



高校1年生より

私は中学2年生から私立の中高一貫校に通っています。私は中学1年生の時、今の環境が嫌で、この学校に行きたくないと言いました。しかし、私立学校は授業料などたくさんのお金を払わないといけないので、私の家庭は、お母さんと叔母さんの2人しか働いておらず、今の学校に通うのは2人の給与じゃ難しかったです。

ですが、このようにお金を寄付してくださる方々のおかげで、この学校に行きたくないという夢がかないました。私の夢をかなえてくださってありがとうございます。たくさんの方の支援のおかげで、私は今笑顔でいられます。



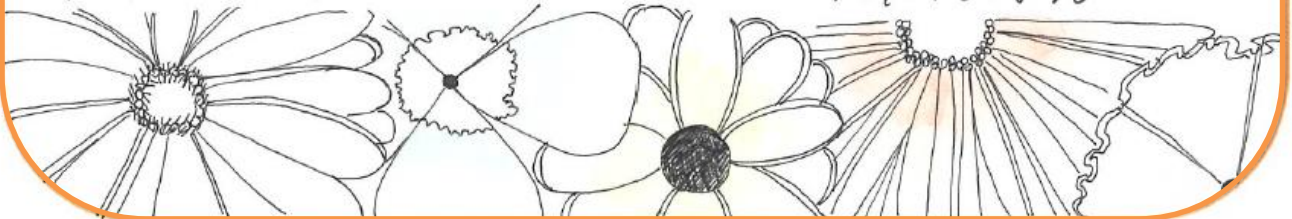
高校1年生より

見知らぬ私の大切なお金を寄付してくださった方々に大きく感謝しています。私があつり前のように勉強できていることや、ご飯を食べられていること、友達と遊びに行けることは、たれかの善意の上で成り立っていることを忘れてはいけない日々を過ごしているように思っています。

高校に入って、勉強のレベルが上がって驚いています。

1学期はあっという間に終わり、2学期に入りました。

1日1日を無駄にしないように過ごしているように思っています。






高校1年生より

私は、今高校で野球をやっています。
1年生から背番号をもらいベンチ入りをする事ができました。
私の高校は、進学校で他の高校よりも夏休みが2週間
ほど少なく、言葉外もあり、課題もあり、急しく文武両道がとて
難しいです。しかし、入学してから学校生活には慣れて
皆様からの支援のおかげで充実した高校生活を送ることができて
います。これからも文武両道できるように頑張ります。




高校1年生より

この度は、私に「寄附をしていただきありがとうございました。
私は中学校時代、自分の学力に伸び悩んでいる時期があり、
解決策を見出だせず苦学していました。しかし、寄附金に
よって、家庭教師による学習のサポートを受けることが
出来るようになり、自分が解けない問題を、一から教わるなど
して、着々と自分の学力が上がっていくのを噛み締めました。
入試は前期選抜・後期選抜の二種類があり、私は後期選抜
で第一志望の高校に入学することができました。この事は、絶対に
自分一人の力では成し遂げることが出来なかったことです。
改めて、「寄附して下さりありがとうございました。」

 高校1年生より

私は、寄附してくださった方々に大変感謝しています。その理由は、寄附されたお金で家庭教師を雇うことができたからです。そのおかげで、受験シーズンも頑張りきることができ、第一志望の高校に合格することができました。私は、寄付金のおかげで今後の人生が変わったと思っています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。被災した私達に寄附していただきありがとうございます。私も今後、今回のようなことがあったら、今度は自分自身が困っている人達を助けることができる人間になりたいです。

 高校2年生より

いつもご支援ありがとうございます。震災から8年が過ぎ、ご支援のおかげで、高校2年生に進学することができ、とても楽しい高校生活を送れています。そして、来年は受験生です。自分は今、第一志望の大学合格するために努力を重ねています。そして、将来は世の中にために働き、今度は自分が誰かを支えていきたいと思っています。

本当にいつも温かいご支援
ありがとうございます。



高校2年生より

いつも、ご支援ありがとうございます。

私は、普通とは違う家庭環境ですが、母が頑張ってくれているのと、皆様のご支援のおかげで、基本的に不自由の無い生活を送ることができています。

これから先、進学を考える上で、お金のことであきらめる、ということとはなくて良いと思うと、とても嬉しいし、より一層学業に励まなければな、という気持ちになれます。

勉強と、学校生活と、自分が興味を持っている世界への探究心を大切にしながら、今しか出来ないことに全力で取り組みながら、将来のこともしっかり考えていきたいです。これからもよろしく願いいたします。



高校3年生より

寄附して頂いた皆様。毎年ご支援ありがとうございます。

今、私は将来に向けて改めて毎日の授業を大切に勉強に励んでいます。定期考査も近いので、それで現状を結果から判断し、入試のための対策を講じていこうと考えています。体調管理に気をつけながら、精いっぱい頑張っていこうと思います。

これからもどうぞよろしくおねがいします。



高校3年生より

育英基金に寄附していただき、ありがとうございます。

私は今、大学受験に向けて準備をしているところです。

入学後は、寄附してくださった皆様への感謝を忘れずに勉学に励んでいきたいと思っています。



高校3年生より

日頃より温かいご支援ありがとうございます。
私は現在、大学受験のため、勉学に励んでいます。
これから先は、自分の頑張りだけが形になってくると
思います。皆様のご支援が私の頑張りにも
繋がっているのでも、感謝の気持ちを持って
過ごしていきます。



高校3年生より

いつも寄附などありがとうございます😊
たのしく元気にすごせています
ありがとうございます。



専門学校3年生より

いつもご支援ありがとうございます。
毎日、何不自由なく過ごせているのは皆様のおかげです。
私は現在、自動車学校へ通い、免許取得を目指して
います。1度ご取得できたらもう勉強し、頑張ります。
これからもご支援のほど、よろしくお願ひします。



大学1年生より

自分は今この奨学金のおかげでとても楽しい大学生活を送れているので寄附してくださってる方々にはとても感謝しています。

こういったご支援がなければ私は大学へは行けなかったもので、こうして大学に通っていることがどんなに幸せかを胸に刻みながら将来の夢である公認会計士に向け日々勉強していきたいと思います。



大学1年生より

いつもご支援ありがとうございます。皆様のご支援のおかげで心置き無く大学生活を迎えることができました。

私は大学で中国語を勉強していて、今年度中には中国語検定3級を取得しようとして毎日勉強に励んでいます。私が現在大学という環境で学ぶことができるのは皆様のご支援のおかげです。皆様が与えて下さったこの環境を無駄にしないように、これからも勉強に励み、将来は社会に貢献できるような人間になりたいと思います。



大学1年生より

東日本大震災から、約8年が経ち、当時小学4年生だった私は、大学1年生になりました。

今、あの頃を思い出すと、つらいことも沢山ありましたが、それ以上に、沢山の方々から温かいご支援をいただき、私は今日まで、頑張ることができています。

18年になった今、私はせつなさに父のことをよく考えるようになりました。玄いと眞は、父のことを思い出さずには、つらい気持ちにはなりましたが、今は違います。何かをする時、悩んでいる時…そんな時、父は何と言いか…。今は亡き父と己の会話を繋いでいるような気がします。そして、私の大好きな町も、あの日、一瞬にして無くなってしまいました。3月12日に見た、町の光景は、忘れること

ができません。どうして自分の町が…?と何度も思いました。8年経った今、人口は以前より減ってはいますが、少しずつ明るく笑顔溢れる町に戻っています。

私は、高校から地元を離れました。帰るたびに、変わりゆく町の姿を見て、少しずつではありますが、復興していると、感じます。

今日まで、私は沢山の事を経験しました。震災を通して、家族の大力や、新しい出会い、さまざまなことを経験し、つらいことも多くありましたが、沢山の人の笑顔と勇気をいただきました。私は将来、子どもと関わる職業に就きたいと思っています。その子どもを自分の力で笑顔にし、夢を与えたいです。

夢を見失わず、常に前向きに頑張ること。それが思っていたこと、思っています。



大学1年生より

寄附してくださってありがとうございます。

今は大学に通っています。

充実して勉強できているのは、寄附のおかげだと思います。



大学1年生より

震災から8年がたち、私達もそれぞれの目標に向け進路をより具体的に考えていくことが求められるようになってきました。

そのように考え、生活することができるのも私達に支援してくださった皆様のおかげです。

私たちを支えてくれた多くの方に感謝し、私たちが次の世代を支えていけるように努力を重ねていきたいと思います。

これからもご支援のほどよろしく申し上げます。



大学2年生より

何時もご支援頂きまして大変有難うございます。

現在大学に通いながら、社会福祉の勉強をしており学業も残り2年となり、来年には就職活動も始まりますので今まで受けた支援を少しでも卒業後は社会に貢献できるよう次の目標に向かって進んでいきたいと思っています。

これも全国からの温かいご支援のおかげと思っています。

本当に有難うございます。



大学2年生より

私たちのために寄附をしてくださった方々、本当にありがとうございます。
私は今、将来のために大学で日々勉学に励んでいます。
これらもよろしくお願いします。



大学2年生より

私は寄附金のおかげで、今、大学に通っています。さらに、
大学で勉強しながら、大好きな剣道を部活動としてやらせて
いただいています。不自由なく、好きなことができ、
充実した生活を送れているのも、寄附をしてくださった
方々のおかげであります。
本当にありがとうございます。



大学3年生より

今、大学3年となった自分はとても充実した生活をして
います。震災前くらいとは言いがたい部分も少しはありますが
それでも充分満足いく生活ができているのは支えてくれて
いる家族だったり寄附をしてくださった方々のおかげだと
思いますので、これからも感謝の心を忘れずに生きてい
たいと思います。



大学3年生より

震災後、本来であれば、大学には行けないうような経済状況でした。皆さまの暖かい支援により、私は大学に通い勉強をすることができています。どのような形の支援でも私たちの生活の助けになります。

震災から8年が経過し、被災地も大きな変化を遂げています。支援して下さった方々も、今度足を運んでみてください。ご自身の支援の形となって現地に現れていることでしょうか。心より歓迎しております。

未だ、家庭内の経済状況が芳しくない人も多いと思います。私の同級生にも大学を辞めた友人が多かったです。これからの支援の程、よろしくお願ひいたします。



大学3年生より

大学では今、日商簿記2級の資格の取得を目指して勉強しています。

今は夏期休暇中ですが、大学で行われている簿記の講座に参加し、家でも時間があれば少しでも勉強するように心掛けています。



大学3年生より

寄附をして下さっている皆様、ありがとうございます。

自分は今、大学3年生で就職活動を始めています。

将来は宮城県で働き、社会に貢献したいと考えています。

大学で学ぶことは出来ているのは皆様のおかげです。

1日1日を大切にして、頑張っておりますので、これからも応援よろしくお願ひいたします。



大学3年生より

いつもたくさんのご支援ありがとうございます。皆様のご支援のおかげで、現在大学に通い、学ぶことができています。今大学3年生で、将来の進路について模索している毎日です。1日1日を大切に、今後の人生についてしっかり考え、自分自身と向き合っていきたいと思います。これからもどうぞよろしくお願い致します。



大学4年生より

ご寄附をいただいた皆様へ

私は今大学4年生で、残り約半年で卒業です。

福祉の道にすすむために勉強を頑張っています。

自分の夢のために、今頑張ることができているのも皆様のおかげです。

本当にありがとうございます。

来年の2月には国家試験があり、それに向けて更に勉強を頑張ります。



大学4年生より

私は今大学4年生で就活をしています。自分自身の大学生活はとても充実していました。良い環境で勉学に励むことができ、教育実習等貴重な経験を積むこともできました。

また、たくさんの友人達にも恵まれ、多くの人脈を得ることができました。

このように自分がたくさんの経験や友人を得ることができたのは、この奨学金のおかげであり、寄附してくださった皆様の力があったからです。

本当に感謝してもしきれません。ありがとうございます。

これからはこの恩をしっかりと返していけるよう、社会に貢献していきたいです。



大学4年生より

いつもお世話になっております。

震災時 中学1年生だった私も、大学4年生になりました。
就職活動も終え、来年から社会人です。

みなさまの寄附により、安心して通えた大学、
そこで学んだことを活かして頑張っています。
残りの学生生活も楽しみます。

本当にありがとうございました。



大学院2年生より

みな様の温かいご支援のおかげで、のびのび
と自分の夢に向かって歩み続けられております。

海外での[↑]経験や企業研修、大学院での[↑]経験
を通し、自分の視座を高めることで、当時は思っ
たいなかった 新たな世界へと足を踏み出しております。

24歳にしてガンと発症し、目の前が再びお暗く
もなりましたが、自分と向き合い、自分を支える人々を思っ
たときに、再び希望を見つけられました。

これからののびのびと、自分自身に誰かの希^望望^玉に
より、持^少少^一歩^一歩^一でも思^送送り^ができる^よう、これからの
一歩一歩、前に進んでゆきます。

～ 保護者の方からのメッセージ ～



小学3年生の祖母より

支援していただいている皆様ありがとうございます。
震災から、はや8年が過ぎました。震災時4ヶ月
だった孫も小学3年に「なり、元気に通学しております。
津波によって破壊された自宅を直して元の場所で過ごし
ていますが、地域は堤防、道路などの復旧工事が
続いており、まだまだ震災の復興途上であります。
地域の子ども達も少なくなり、小学校の生徒数も激減した
中、幸いにも孫は友達を作り楽しく元気に登校しており
ます。このように元気な姿を見るにつけ、ここまで過ごせた
のは支援していただいた皆様のおかげだと感謝して
おります。本当にありがとうございます。
最近も各地で大災害が発生していますが被災者の方々の
気持ちを考えると心と身体の健康を願うばかりです。
あらためて、支援していただいている皆様により感謝
申しあげます。



小学校4年生の保護者より

震災から8年も経過した現在も心暖まるご支援

本当にありがとうございます。

ご支援くださった皆さまには、感謝の気持ちしかございません。

皆さまの暖かい気持ちを糧に子供と共に成長していきたいと思っております。



小学5年生の保護者より

いつもお世話になっております。震災から8年もたっている今も、皆様から、あたたかいご寄附をいただき、心から感謝しております。主人が亡くなってから、正直私の収入だけでは大変になってきておりました。でも、皆様からのご支援のおかげで、普通の家庭の子供と同じように、文房具や靴、服や本などを買うことができ、娘は、明るくのびのびと生活できています。娘には、皆様からのご支援の事を、常に感謝するようにと、教えています。小学生の娘は、将来、医療関係の仕事をしたいと言っています。それは、困っている人を助ける仕事だからだそうです。娘がこのような夢をもつようになったのも皆様からのご支援のありがたみを感じ、「たあけ台い」の気持ちがめばえたからだと思っております。

震災から8年もたつというのに、あけから時間が止まっているような、きのうの事のように震災を思い出したりしてしまう事がよくあります。でも、いつまでも被災者の立場でいてはいけな思っております。世の中には困っている人がたくさんいるというのに、私達は、このような気持ちのこもった、ご支援をいただいております。私達は、決して皆様のお気持ちを「あたりまえ」のようにいただいてはいけな思っております。私達は、いつも感謝の気持ちを忘れずに、感謝の気持ちを、もち続ける事が大切なんだと、心にとめておきたいと思っております。本当にありがとうございました。



中学校1年生の保護者より

震災から8年、4人だった娘も中学1年生になりました。突然娘と2人きりになったあの時の気持ちを忘れることはありません。くやしかったり、悲しかったり、やりきれない気持ちと、一人で娘を育てていく責任感とで押しつぶされそうになる時もありましたが、そんな時に寄附して下さった方々のお気持ちを考えると、あたたかい気持ちになります。「頑張ろうよ」というエネルギーになります。

いつも ありがとうございます。



中学1年生の保護者より

いつもあたたかいご支援を頂き、ありがとうございます。

娘も中学1年生となり、部活、勉強に忙しく過ごしております。

小学生時代と違い、中学生ともなると学習塾にも通うようになり、奨学金を塾費用とさせて頂き、大変ありがたく思っております。

今後も、高校・大学と進学できるように、本人も頑張れるように奨学金を大切にに使わせて頂きます。



中学校1年生・2年生の保護者より

震災から早8年が経過しました。

様々な思いがある中、皆様からのご支援のおかげで、娘達も中1、中2となりました。

勉強や好きなことに、心配なく取り組むことができるのは、ご支援が、あってのことです。

日々の方々に支えられながら、学生時代を一生けん命に過ごし、社会に恩返しできるようになればいいなと思っております。長きに渡るご支援に感謝しております。



中学校2年生の保護者より

私の娘(中学2年)は、部活の部長として夏休みでも1日も休まず、一生懸命頑張っています。こんな娘を私は、誉めてやりたいと思います。



中学校2年生の保護者より

東日本大震災から、8年が過ぎました。

あたたかいご支援、ありがとうございます

皆様のご支援に感謝しております。



小学校6年生・中学校2年生の祖母より

長い間、ニども育英基金にご寄附してくださる皆様、ありがとうございます。ニども助かり感謝いたしております。私に娘をてくし、その子供、5才と3才の孫を育てております。私も72才になり、将来の^{当時}ニとや自分の体のニとは不安はニとばかりで色々心配事はあります。でも全国の暖かい皆様のお気持を考えれば、元気を出さずにはいられません。孫も中2と小6になりました。まだまだがんはんとくはないうので、皆様達の助けとお貸りして精一杯生きていきます。全国の皆様ありがとうございます。



中学校3年生の保護者より

中学3年生です。

部活では、バドミントンで県大会にも出場しました。

陸上では、走り高とびで、東北大会で2位になり154cm飛びました。

宮城県より遠い、福島県に行ってきました。

高校は、宮城県の高校に行き陸上をがんばりたいようです。

地区の中学生の私の主張で、発表しました。

私は、本人の話をあまりきいた事がなかったけど、

宮城から岩手に来て陸上競技に出会うまで、

そこから、いろいろと子供ながらに、さみしさを乗り越えて今がある事を発表し、涙が出ました。

高校生になっても走り高とびを続けようとしています。

岩手を離れていく、密着するのがさみしいけど、頑張ります。



中学校3年生の保護者より

小学校にあがる前の幼稚園児だった娘も、
早い事で中学3年の受験生になりました。
部活も終え、進学の為、勉強をがんばっています。

いつもお世話になっております。

おかげさまで娘も中3になりました。

今後ともよろしく申し上げます。



高校1年生の保護者より

いつも皆様からのあたたかいご寄附、本当にありがとうございます。
震災で、鬼子は父親を亡くして、もう8年が経過しました。
当時鬼子は小学1年でしたが、今は高校1年になりました。
最近ようやく反抗期もおちつき、父親との思い出も、口に出して
話せるようになりました。そして皆様からのご寄附についても
本当に心から、感謝できるようになりました。

中学の頃は、学校に行きたくない事があり、いろいろと大変でしたが、
第一志望の高校に入学でき、今は毎日元気に通っています。

もし、皆様のご寄附がなかったら、志望校にも行けずに、暗くなって
いたと思います。鬼子本人も、この育英基金があったからこそ、
第一志望の、設備の良い、いろいろな資格の勉強ができる高校に
入れて、良かったと言っておりました。これからも感謝の気持ちを
忘れずにいきたいと思っております。

皆様のあたたかいご支援、本当にありがとうございます。



高校1年生の祖母より

いつもたくさんの支援ありがとうございます。

8年前のあの日、帰ってこない嫁と孫（本人の母と妹）。

10日後に遺体安置所で確認した時には、頭が真っ白で何も考えられませんでした。

1日1日、日がたつにつれ「何で！」という怒り、悲しみ。

もっと日がたつと、これからどうすればいいのか不安が増し、その後は「もし、あの時、こうしてれば」という、自分の行動を後悔して。

この「もし」という思いは今も続いています。

それでも、私、息子、孫、大きな病気等もなく、健康に元気に過ごしています。

皆様からのご支援のお陰で孫には人並に習い事等通わせる事ができています。

個人的に何かをお返りする事は難しいですが、いつも「ありがとうございます」という気持ちを忘れず、又、各地で起きている災害で同じく被災した方々への微力ながら無事を祈ったり、寄附等を心掛け少しでも恩返しができるばと考えています。

孫は塞ぎこんだり、引きこもったり等の心配な様子もなく、明るく素直に育っております。

小1の終業式直前での震災でしたので、どこまで理解し、記憶として残っているのか分かりません。

あの日から震災の事は勿論、母親の事、妹の事を何も一言も話しません。色々な思い出はあるはずなのに。

心のケア支援もたくさんありますが、親を亡くした子供として話しをされる事自体を受け入れられない為、一度も利用した事はありません。

ただ、私達は日々の生活の中で2人が生きていた時の思い出等は普通に話すようにしています。

大丈夫です。支援してくださっている皆様に恥じないようにしっかり生きていきます。

長々とすみません。中々あの時の気持ちを吐き出せる機会もないので、、、本当にありがとうございます。

いつも感謝でいっぱいです。



高校1年生の保護者より

震災から8年が経ちましたが、地元を去り、内陸に移り住み、やっぱり元居た場所が懐かしい思いと、残った住民の皆様に申し訳ないような複雑な思いです。

震災の年は娘は小学1年生でした。

今年は高校生になり、大好きなバレーボールを頑張っています。

今は前向きに、自分の夢に向かって日々頑張っています。

この様な生活ができるのも、全国からご寄附を頂いたおかげだと、感謝の気持ちで一杯です。

ありがとうございます。



高校1年生の保護者より

震災から8年が経過し、これまで生きて毎日を過ごす事ができたのも、みやぎ育英基金奨学金があったからだと思っています。これまで子供の成長と共にお金がかかっていく中、学校に安心して行かせる事ができ普通の生活をおくる事ができているのも8年間ご寄附をして下さった皆様のおかげだと思っています。毎日皆様に感謝しながら一生懸命生きていきたいと思えます。

今年から子供が高校に入学して、毎日いろいろあるようですが、がんばって学校に通っています。

3年間、何ごともなく卒業してほしいと思っています。

本当にありがとうございます。



高校1年生・2年生の保護者より

いつもありがとうございます！

我が家 被災した長男長女含め2男3女。

皆様からの温かいご支援に感謝です。いつも
心が救われております。家族一同。

心から感謝申し上げます!!!



高校2年生の保護者より

ご支援いただき、ありがとうございます。

震災から8年がたち、小2だった息子は高2になりました。

野球部で毎日朝から晩まで練習をがんばっています。将来のことも本格的に考
えているようです。

男の子はだんだん口数が少なくなり、親としては寂しいですが、成長の現れと
思い、見守っていきたいです。



高校3年生の保護者より

父を震災で亡くし外出しては楽しそうな家族を見て寂しそうな顔をしていた我
が子もう高校3年生です。軽度知的障害があり支援高等学園に通学し卒業後
障害者雇用を目指しがんばっております。いざ就職出来てもわずかな給料で生
活していかなければなりません。そのためいただいた寄附金は本人にとって大
切な生活資金となり大切にに使わせていただきたいと思います。今まで楽
しく過ごす事が出来たのも全国の皆様からのあたたかいご支援のおかげだとお
もっております。本当にありがとうございました



高校3年生の保護者より

長い間、寄附してもらい有りがたいです。
関係者の方他有りがとうです。
私自身も店が出来なくなり、
70才もすぎたのですが、孫が高校卒業するまで
アルバイトしています。
少ない収入ですので助かっています。



高校3年生の祖母より

早いもので震災から8年も経過したんですネ。
孫は高校三年生になりました。女で一人で娘は子育てしておりましたが、二年三ヶ月前に病気で亡くなってしまいました。そして私達おじいちゃんおばあちゃんと今は三人で暮らしています。娘が亡くなった時、孫は（第一声 僕どうしよう）と言った言葉が今でも忘れられません。高校一年になったばかりでした、……、
それでも時がたつのは早いもので今は高校三年になり、お友達もたくさんできて楽しそうです。男の子なので多くは語らないけど、主人も私も孫一番に生活して雨や雪、しないに遊びに行く時の送迎どんな時も車で送ったり、べんとうも毎日手作りしてがんばっております。授業料も育英募金の援助を受けて、年金生活の私達はほんとうに感謝しております。あとは健康に気をつけて孫の成長を楽しみにして、娘にも毎日の事手を合わせて報告しております。
大学受験に入りますが、本人も勉強がんばっております。
今後とも見守って下さる事をお願い致します。近況とお礼まで。



高校3年生の保護者より

あたたかく力強いご支援をいただき感謝しております。毎日元気で過ごせるのは、皆様からの心のこもったご寄附のおかげです。思いと力を感じ、大変心強いです。前を向いて歩かなくてはいけない私達ですが、こうして支えていただいていることが先の未来の明るさに繋がっています。
今度も精一杯生きることが皆様へのご恩返しと思い頑張りたいと思います。



高校3年生の保護者より

早いもので娘も高3になりました。

来年は、小さい頃から夢だった「トリマー(ペット)」になる為、専門学校へ進学予定です。今後とも宜しくお願いします。



専門学校2年生の母より

3人の子供が大変お世話になりました。

震災のことは今でも忘れられません。

震災で夫を亡くし、先が真っ暗でした。

家族や友、私にかかわる人達から、傷つくことを言われ、誰も信じられなく、孤独になり、苦しかったことも今でも忘れられません。今は少し良くなりましたが、心が元気になれないままほとんど誰にも会わない生活をしています。

この生活なので、子供にかかるたくさんのお金を育英募金のおかげで私達は今まで暮らせることができました。3人の子供も私立学校でたくさんのお金を学び、自分がやりたい仕事をするため専門学校にも行けました。下の子供が今試験で頑張っていますが、お金にこまることなく、夢をかなえるためにたくさんの方が助けてくださったおかげで学校に行けていることを子供達にも感謝して学校に行きなさいと言ってきました。

震災で夫を亡くしたことは本当に今でも苦しく、テレビではいろいろなきれいなことを言っていますが、私は人を信じられなくなりました。

息子も「おまえの家はお金持ちだから」とか私もそんなふうに言われますが、だいぶ強くなりました。世の中は家族全員そろっていても大変な時代なのも分かりますが、家族をなくすことは本当に何年たっても苦しく涙がでますね。もうじき下の子が仕事が決まると思います。

震災から本当にお世話になりました。今までのことが無駄にならない人生を進められたらと思っております。ありがとうございました。



専門学校2年生の祖母より

震災から8年間の長い期間たくさんの支援金を送って頂き本当にありがとうございます。お陰様で現在仙台の専門学校の2年生です。来年3月卒業予定です。

来月9月より就職試験始まります。

本人も一生懸命勉強頑張っています。

今まで本当にお世話様でした。



大学1年生の保護者より

この8年をふりかえれば、よく生きてこれたものだと思います。絶望から、苦しみぬいて、気づけば様々な縁や、天からの助けで生かされて、精神的なもの以外にも、やはり金銭的にも支援を頂けたからこそ、残った娘のために、自分が何かあってもやってゆけると、安心感を持つことができ、日々なんとかやってくることができました。本当に感謝しております。



大学2年生の保護者より

震災前からの公共交通機関の無さは震災からの復興の中でも解消されていません。従って、大学進学したものの、通学手段は車を運転して通学するしか無く、その為に車(中古)を買いました。当然、ガソリン代を始めとした維持費がかかるので、学費も含めて、大変お世話になっております。ありがとうございます。



大学3年生の保護者より

いつもお世話になっております。小学6年生の卒業式目前で東日本大震災があり、いろいろと大変でしたが皆様からのあたたかいご支援のおかげで現在大学3年生になり毎日家族で楽しく元気に生活しています。この様に生活できているのも、大学に通えているのも皆様の支援がなければ実現していません。最近一人暮らしを始めて社会人になり社会に貢献していくための第一歩を踏み出しました。本当にいつもありがとうございます。



大学4年生の父より

震災時 中学2年生の時から、本年大学4年まで9年間にわたり、応援して頂きました。お陰様で仕事オンリーにならず、家族としての時間を持つ余裕もできました。就職先も決まり、今年卒業になります。長い間本当にありがとうございました。子供には、社会の皆様から受けた恩を、仕事で少しずつでも返せるよう努力する事を願っております。



中学3年生・大学1年生の母より

東日本大震災みやぎこども育英基金関係者のみなさまへ

東日本大震災で被災した母親です。子供たちのためにいつも温かいお心遣いありがとうございます。私には2人の子供がいます。子供は被災しましたが、おかげさまで命は助かりました。ですが、家は流失し、夫と父親を亡くしました。呆然とした日々でしたが、それでも子供たちを育て上げるために必死で生き抜いてきました。そんな中での「東日本大震災みやぎこども育英基金奨学金」はたいへんありがたかったです。本当にありがとうございます。おかげさまで娘はこの春から東京の大学に進学しました。息子は中学3年生で、もうしばらくお世話になると思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。



高校3年生・大学3年生の保護者より

いつもご支援いただきありがとうございます。

震災時に中3、小6、小3だった子供達は24才、20才、17才になりました。ここ2年くらいはやっと主人の話をしたり、家族旅行の思い出を話すことが出来るようになりました。

20才の息子は自分の父親がどういう人生をたどってきたか、子供の頃からどんな性格だったかと知りたいようです。

子供の心の成長を感じると同時に、父親の今までの立派な行いや子供達のことをとても大切に思っていたことを伝えていくのは私の役割なのだと感じました。

父親をうしなっても子供にきちんとした教育を受けさせてあげられているのは皆さんからのご支援があったからです。

とても感謝しています。

そして、子供達は周りの友達に震災の時のことや父親が行方不明になっていることを知られないように生きてきました。まだまだ、思い出しては涙する日もあります。でも、何時の日か、それらつらい日々を含めて、父親のことを周囲に話せる日が来ることをねがっています。

これからもよろしくお願いします。



大学5年生の母より

大変お世話になっております。

震災から8年、中2と小5だった子供達は、お陰さまで大学生5年生と2年生になりました。

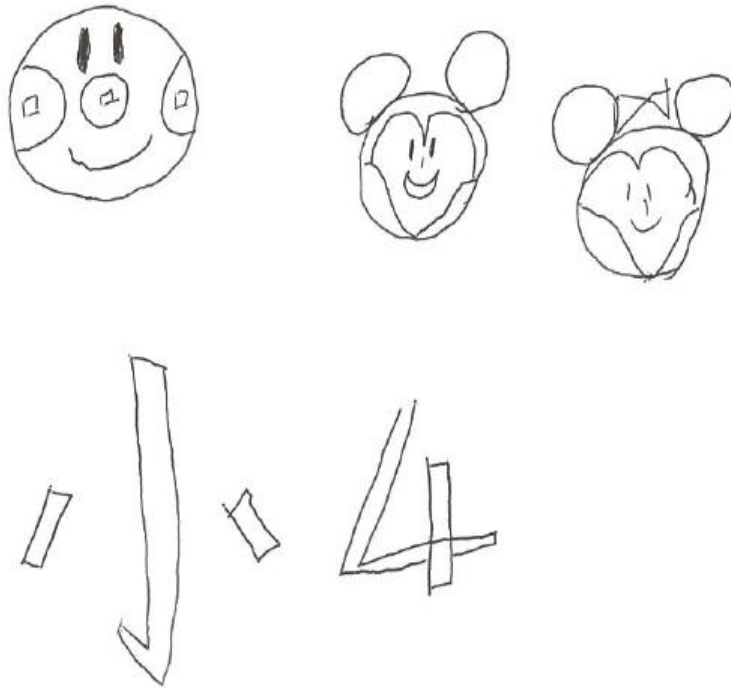
上の娘は、父親大好きな娘で、父親の一番のサポートがあった陸上をずっと続けました。父親がいたら自分は将来も大学も陸上で進んだと思う。と、つい最近話してくれました。父親が津波で行方不明になった時、一番涙を流した娘は、父親の夢で会った全国大会に高3の時出場した後、きっぱり引退を決め、自立の道を選び、薬剤師の資格取得を目指して、県外に進学しました。一番、泣き虫で甘えっ子の娘が、一人で暮らす選択をしたことに、母親としてとても驚きました。ただ、専業主婦だった私が、主人を失って文字通り路頭に迷うような心境になった時の生活基盤の無い状況を見ていて、女でも自立をしなければいけない。と思ったことは間違いのないようです。

高校まで、走ることしかしていなかった娘が、大学の勉強についていくのは、大変だったようですが、体育会系のど根性でがんばっています。現在、2ヶ月間の予定で、実習のため家から通っています。久しぶりの賑やかな我が家になっています。白衣を着て頑張っている姿を、一番父親に見てもらいたかっただろうと思っています。時間とともに成長していく子供たちの姿を、主人の分も一生懸命見守っていきたいと思っています。

～ 家族からのメッセージ ～



小学校4年生と保護者より



④ バドミントンのスポーツ少年団で

練習してがんばっています。

子供達は、男と女の 双児で

⑤ 野球少年団です。

孫3人みてゐるけど3人とも運動大好きです。



中学校 2 年生と父より

中学校に入学すると次の日実力テストから始まり、授業、部活、そして地域の行事の参加、次々と新しいことばかり、夢中で過ごしているうちに一年はアツというまででした。二年になり終業式が終わり、また実力テストから始まり中体連へ向けての練習が、そして試合、それが終わったかと思ったら期末テスト、ホッとするまもなく、夏休みに入っても、練習々で休みがないまま二学期がはじまり、秋の大運会、新人戦をむかえるためのまた練習、今週の土曜日は地域のお祭りに参加しました。

昨日は練習試合、今日は振休みです。ホッとした一日をむかえられました。明日からはまた地区新人大会へ向けての練習がはじまります。(今度の)新人大会は三年生が参加しない、初めての大会です。後輩が見ているのでがんばらないといけないと心に誓っています。

(中学 2 年生より)

娘を背中にせおい、妻をそっちこっちの海をさがしまわったが見つかることができず、海を見たくなくなり、地震がくるたび、手足がふるえ、大変なめにあい、地元をはなれ、知らない土地に住み、またいろいろあり、あそこから八年、月日の流れを感じるこのごろです。

娘も中学二年になり、あの時の姿がたはありません。台所に立ち洗い物をしている姿がたを見ると妻に見えてきて、うれしいようなさびしいような気持ちになります。でもこの子のためにがんばらないとと思い、元気づけられます。それもこれも育英会の支援があったからこそ仕事をしていても安心というか、心にゆとりみたいな気持ちがあり落ちついて過ごすことができたんだなあーと心から思います。ほんとうにありがとうございます。

(父より)



中学3年生と父より

最近、私は修学旅行に行ってまいりました。改めて、東京ってこんなにすごい場所なんだと感じさせられました。さて修学旅行が終わり、次は高校にむけて受験勉強を私はがんばっています。中学三年生なので、後悔のないように友達と仲良く、そして勉強もがんばっていきたいです。

最後にご支援ありがとうございます。

(中学3年生より)

ご支援をいただきありがとうございます。
 早くも終り、私の親とせりやく様々の環境の
 変化の中にあること、私の親は毎日、毎時
 のことは決して忘れたいほど、よくよく妻(子供は
 いるが母親)の思い、悲しみ、涙をいえることがありません
 今回も多くの皆様、支えがあった子供は、小・中・高
 と学校生活を無事に送ることが出来ました。
 今後は、早く高校進学を控えている卒業生、社会に出
 たとしても、今度は自分が支援の方に対するようにも教えて
 います。最後にもう一度支援の場、ありがとうございました。保護者より



毎日、ありがとうございます。から一日が始まります。不安だった八年でした。今、皆様のお陰で私たちは安定した生活をしていきます。子どもたちもそれぞれ学業に励んでいます。

一日とも忘れた事はありませんでした。

皆様へ感謝の気持ちでいっばいでしたが、言葉がみつきりませんでした。

今日も頑張る事ができました。いっもありがとうございます。

(保護者より)



高校2年生と保護者より

現在、温かいご支援を賜ることができ、

楽しい学校生活を送ることができております。

高校に入学してからというもの、時の流れは一層早まり、

既に一年半が過ぎ、高校生活も折り返しとなりました。

つきましてはこれからも尚一層の精進に努めようと思います。

(高校2年生より)

早いもので今年高校2年生になりました。

夏休みには大学のオープンキャンパスに足を運び、

これからの事を考える岐路に立っています。

社会の変化に対応しつつ、自分らしい人生が

送れるように、見守ってあげたいと思います。

(保護者より)



高校2年生と母より

私は高校2年生になりました。
学校では、勉強や部活を頑張っています。
毎日、友達と楽しく過ごしています。
今度、修学旅行で「カナダ」に行きます。
初めての海外なので不安なこともあるけど、
たくさん楽しんでみたいです。

(高校2年生より)

震災直後は未来など考えられませんでした。この8年半の間、
皆様からの温かいお気持ちをいただき、子供達は毎日楽しく過ごし、
元気に学校に通い、たくさん思い出を作ってくれました。
本当に感謝しかありません。大きな大きな優しさをありがとうございます。
夫と共に子供達の成長を喜び、そして悩みながら生きて行くはずでしたが、
それは叶わぬ夢となってしまいました。
しかし、子供達、それぞれの心の中に「パパは生きていると思います」、
私自身、子供達の為に夫の分も…と思えば、勇気を持って、
行動できるようになったと思います。
これから先も、「困ったなあ… どうしよう」と思う事は、たくさんあると思います。
でも、皆様からの応援を力にして、きっと近くで見守ってくれている夫の
気持ちを感じ、元気で頑張っていきたいと思っています。少しづつでも前へ進み
皆様への恩返しが出来ればと思っています。

(母より)



高校3年生と母より

震災当時、小学3年生だった娘は、小学校の卒業を目前に震災関連死で父親を亡くし、大きなショックを負いました。地域の友だちと離れ、私立中学へと進学しました。父親が亡くなる前におこなった合格が決まっていた進路でしたが、母娘2人で、この年の生活に大きな不安を抱きました。

しかし時は無情に過ぎ、中学の入学式は迎えきれず、大規模の怪我を癒えるには秋深かおぼろし。お母さん娘はとうとう登校拒否。そこから苦しい学びが始まりました。娘も私も日々生きていく中で必死でした。お母さん、お父さんの温かい支援があることを涙腺に押しやり奨学金申請もさせていただけました。そこから先、娘に変化が現れ、「自分を変えて」とドイツへの語学留学を決めました。お母さんからの温かい支援のおかげで、ドイツでは語学(ほかにキレも)勉強させていただけました。大規模な怪我を一年後に帰国しました。今年高3になった娘は、今夏、被災地支援プログラムで3週間アメリカへ。その学びを生かして、被災地のために高校生ができることのプロジェクトに参加したいです。そのためにさらに大学で学びたいと受験に向けて勉強中です。お母さん、お父さんの温かい支援のおかげで、大規模な怪我を癒え、娘は、このお母さんのおかげで、被災地復興のためにがんばっていくと決まっています。それが私達の母娘が持つ、小さい小さい思い返しと決まっています。 じつと感謝しております。 合掌。

私は現在中高一貫の私立高校に通っています。中学の受験が終わり、合格が両親に家族で喜んでくれたとき、父を震災関連死で亡くしました。大きなショックと希望を失ってしまつて、日々生活することに必死でとうとう心が疲れてしまい不登校になってしまいました。苦しい日々を送っていたとき、この基金のことを知りまして、そこから頑張る力がでてきて、「自分を変えて、周りに影響をあたえたい」と思い、ドイツに1年間留学しました。そして、高3になった今年、夏の地域貢献を学ぶために3週間アメリカへ行き、被災地のために高校生ができることを仲間と共に考えました。私は自分の経験を生かして、大学進学のために日々勉強に励んでいます。お母さんの温かい支援のおかげで、「生きていくことができています。私は将来自分の街をステキな街にしたいと思っています。それが私にできるみなさんへの思い返しです。

東日本大震災みやぎこども育英募金 寄附者の皆様へのメッセージ

発行：令和2年2月

表紙：P.2 小学6年生より, P.33 小学校4年生より, P.36 高校1年生より,

宮城県保健福祉部子育て社会推進室

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号

T E L 022-211-2528

F A X 022-211-2591

E-mail kosodate@pref.miyagi.lg.jp

※ 個人が特定されないよう、県の責任において編集いたしましたことをご了承ください。